

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
1	国	建造物	八千代座	山鹿	山鹿市	昭和63年12月19日	江戸時代の歌舞伎小屋様式を残す本格的芝居小屋。明治43(1910)年竣工。平成8(1996)年から5年をかけて半解体修理を実施。 附土堀・棟札・獅子口・奉納扁額。
2	国	考古資料	方保田東原遺跡出土品	方保田鍋田(博物館)	山鹿市	平成29年9月15日	弥生時代後期から古墳時代前期の大集落跡である方保田東原遺跡から出土した品。土器・土製品、金属製品、石器・石製品、貝輪、ガラス玉からなり総計952点。
3	国	史跡	チブサン・オブサン古墳	城	国ほか	大正11年10月12日 平成11年1月28日	古墳時代後期の前方後円墳。横穴石室内の石屋形に赤白黒の三色で幾何学文様・人物を描く。オブサン古墳は突堤付円墳。周辺を肥後古代の森山鹿地区として整備。
4	国	史跡	鍋田横穴	鍋田	山鹿市・個人	大正11年10月12日	古墳時代後期の横穴墓群。60基以上からなり、このうち16基に装飾文様が確認されている。代表的な27号は外壁に武器類を浮き彫りしており、破邪の思想を示す。
5	国	史跡	弁慶ヶ穴古墳	熊入	熊入区	昭和31年12月28日	古墳時代後期の古墳。巨石で構築された複室の横穴式石室に赤で船、馬などを描く。周辺の削平で墳形・規模などは不明。調査で装身具、馬具などが出土している。
6	国	史跡	方保田東原遺跡	方保田	山鹿市ほか	昭和60年2月19日 平成18年7月28日	弥生時代後期～古墳時代初頭を中心とする県内最大規模の集落遺跡。土器や金属器(青銅器や鉄器)などの遺物、遺構が集中して出土。一部を史跡公園として整備。
7	国	史跡	岩原古墳群	鹿央町岩原	国・県・市	昭和33年1月29日、昭和49年2月18日 昭和59年10月8日、平成11年1月28日	古墳時代中～後期の古墳群。岩原双子塚古墳のほか円墳8基からなる。双子塚古墳は県内有数の規模を誇る前方後円墳。周辺を肥後古代の森 鹿央地区として整備。
8	国	史跡	鞠智城跡	菊鹿町米原	国ほか	平成16年2月27日	奈良時代の山城跡。『続日本紀』にみえる鞠智城に比定され、土塁や門礎石が残る。周辺を肥後古代の森 菊鹿地区として整備。 所在地は菊池市に及ぶ。
9	国	史跡	隈部氏館跡	菊鹿町上永野	上永野上組・下組	昭和49年3月23日	戦国時代の館跡。隈部氏の居城で、山腹に礎石・庭園・土塁・石塁・堀切等の遺構がよく残る。一帯を公園として整備。
10	国	特別天然記念物 植物	相良のアイラトビカズラ	菊鹿町相良	山鹿市ほか	昭和15年8月30日、昭和27年3月29日、昭和51年3月31日	中国揚子江沿岸に分布する豆科カズラの種類、国内では当地だけ。毎年5月に開花し、結実しない。名称は観音堂火災で本尊がツルに飛び移ったことが由来という。
11	国	天然記念物	菊池川チスジノリ発生地	方保田ほか	国	昭和34年10月10日	生育の北限地。淡水産紅藻類で、形状と色彩が血管に似ていることから血筋苔という。 指定地区は菊池川の分田橋から山鹿大橋までの範囲内。
1	国	登録有形文化財	山鹿灯籠民芸館	山鹿	山鹿市	平成14年6月25日	大正14(1925)年建築、旧安田銀行山鹿支店。鉄筋コンクリート造二階建、建築面積185㎡。現在灯籠民芸館として利用。
2	国	登録有形文化財	吉岡家住宅(主屋)	鹿本町来民	個人	平成28年11月29日	明治初期に建てられた母屋。養蚕業を営んだ。木造2階建。瓦葺。伝統的構法。308.42㎡
3	国	登録有形文化財	吉岡家住宅江戸蔵	鹿本町来民	個人	平成28年11月29日	明治初期に建てられた土蔵造2階建の蔵。江戸時代の蔵を解いて現地に建てたという。瓦葺。伝統的構法。23.45㎡
4	国	登録有形文化財	吉岡家住宅明治蔵	鹿本町来民	個人	平成28年11月29日	明治22年建造。土蔵造平屋建。瓦葺。伝統的構法。72.78㎡
5	国	登録有形文化財	吉岡家住宅阿弥陀堂	鹿本町来民	個人	平成28年11月29日	明治13年建造の阿弥陀堂。木造平屋建。瓦葺。伝統的構法。3.78㎡。
6	国	登録有形文化財	吉岡家住宅薬医門	鹿本町来民	個人	平成28年11月29日	明治初期に建てられた母屋と同時期と考えられる塀。木造。間口2.3m。高さ2.8m。
7	国	登録有形文化財	吉岡家住宅塀	鹿本町来民	個人	平成28年11月29日	明治初期に建てられた母屋と同時期と考えられる門。木造、切石積基礎。延長 35m。高さ2.4m
8	国	登録有形文化財	大森家住宅主屋	山鹿	個人	平成30年3月27日	江戸末期から昭和に金融業などを営んだ山鹿有数の豪商の邸宅。明治5年に建造され、その後2回増築された。木造2階建て、瓦葺、建築面積381㎡。

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
9	国	登録有形文化財	大森家住宅蔵	山鹿	個人	平成30年3月27日	明治初期頃の建築で明治後期に増築されたL字状の蔵。通称味噌蔵。幅約6m、奥行13.5mの土蔵造り2階建て、切妻造、瓦葺。建築面積118m ² 。外壁は全面漆喰塗り。
10	国	登録有形文化財	大森家住宅観音堂	山鹿	個人	平成30年3月27日	昭和32年建造で、土蔵造り平屋建、瓦葺、建築面積9.3m ² 。3m四方の宝形造。出組と呼ばれる組物で屋根を支え、高欄のついた縁が巡る。
11	国	登録有形文化財	大森家住宅北塀	山鹿	個人	平成30年3月27日	菊池往還に面した延長20mの木造の塀。切石積み上に建ち、正面は漆喰壁で軒を蛇腹に仕上げる。内側は同じく漆喰壁で、彫刻が施された腕木で瓦葺の屋根を支える。
12	国	登録有形文化財	大森家住宅西塀	山鹿	個人	平成30年3月27日	延長10mの木造の塀。外側は北壁と同様に蛇腹仕上げで、内側は漆喰壁で2間ごとに石造りの控え柱を設ける。さらに彫刻が施された腕木で瓦葺の屋根を支える。
1	県	建造物	湯町橋	杉(日輪寺)	山鹿市	昭和55年7月4日	吉田川に架橋された二連アーチの石造眼鏡橋。文化11(1814)年建造は鹿本郡内で2番目に古い。長さ17.7m、幅4.8m。昭和50(1975)年、河川改修に伴い移築復元。
2	県	建造物	川西の宝篋印塔	菊鹿町下内田	国	平成9年10月20日	現存する県内最古の宝篋印塔。「大檀那地頭沙弥道妙」などにより、正和3(1314)年建立。凝灰岩製、頭頂部は欠損するが地上高2.68m。
3	県	建造物	笠忠平の宝塔	菊鹿町相良	個人	平成9年10月20日	年号のある宝塔としてわが国最古。正治2(1200)年、笠忠平(りゅうちゅうへい)の供養のため造塔。凝灰岩製で、塔身高0.67m。塔身にみごとな梵字や銘文がある。
4	県	彫刻	木造地藏菩薩立像	鹿央町霜野	霜野区	平成2年1月19日	平安時代前期の菩薩像。カヤ材の一木造で像高96.7cm。
5	県	彫刻	木造千手観音立像及び二十八部衆立像	鹿央町霜野	霜野区	平成2年1月19日	鎌倉時代の仏像群。千手観音はクス材の一本造で像高201.5cm。二十八部衆立像は像高120cm前後で帝釈天及び満善車王に正和元(1312)年銘がある。
6	県	工芸	白山宮の鰐口	鍋田(博物館)	山鹿市	平成9年3月14日	在銘では県内二位の古さ。青銅製、正平20(1365)年銘。「勸進僧能善坊」により鹿央町米野岳の白山宮に奉納されたもの。
7	県	書跡	「古事記伝」写本	鍋田(博物館)	個人	平成5年3月17日	帆足長秋とその娘京による本居宣長の『古事記伝』写本。翻刻本の完結以前、享和元(1801)年ごろ成立。全44巻が完存する。帆足長秋は肥後における国学の祖。
8	県	考古資料	凡導寺の経筒	鍋田(博物館)	蒲生区	昭和47年10月5日	平安時代後期の経筒。高さ36.3cm。本体に陰刻で設置者や年号を記す。久安元(1145)年銘。本体、蓋ともに滑石製。不動岩西麓で発見された。
9	県	考古資料	臼塚石人	熊本市(県立美術館)	熊本県	昭和48年5月16日	古墳時代の石製表飾。山鹿市石の臼塚古墳に樹立していた武装石人で、鞆を背負う。高さ約2mの凝灰岩製。明治37(1904)年、現地から移動。
10	県	考古資料	方保田東原遺跡出土品	鍋田(博物館)	山鹿市	平成20年6月23日	弥生後-古墳前期の集落跡、方保田東原遺跡で発見された遺物のうち139点から国重要文化財を除いた品。青銅器、土器からなる。
11	県	史跡	長岩横穴群	小原・志々岐	個人	昭和34年12月8日	古墳時代後期の横穴墓群。台地南側の崖面に築造され、500mの間に122基がある。うち9基に人物・盾などの文様を浮き彫り・線刻する。
12	県	史跡	城横穴群	城	個人	昭和34年12月8日	古墳時代後期の横穴墓群。台地東側の崖面に築造され、500mの間に46基がある。人・盾などの浮き彫りを施す。下流に付城横穴群、鍋田横穴がある。
13	県	史跡	馬塚古墳	城	山鹿市	昭和48年3月28日	古墳時代後期の円墳。複室の横穴式石室に赤・白・青で文様を連続三角文を描く。直径25～30m、高さ4m。調査後墳丘を復元し、保護施設を設置。

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
14	県	史跡	桜の上横穴群	鹿央町岩原	個人	昭和48年8月27日	古墳時代後期の横穴墓群。3群23基の横穴からなる。-1号横穴は複室で、線刻の装飾。保護施設を設置。2号横穴には彩色装飾がある。
15	県	史跡	持松塚原古墳	鹿央町持松	個人	昭和48年8月27日	古墳時代後期の古墳。昭和42(1967)年、圃場整備に際して一部が調査された。墳丘は削平され規模・墳形などは不明。幅1.7mの巨大な石棺をもつが、内部は未調査。
16	県	史跡	付城横穴群	城	山鹿市	昭和49年3月23日	古墳時代後期の横穴墓群。台地東側に上下5～6段にわたって築造され、96基がある。うち3基に彩色・線刻による装飾がある。複室の横穴墓も1基ある。
17	県	史跡	津袋古墳群	鹿本町津袋ほか	国・市ほか	昭和51年8月24日	古墳時代前期から中期の古墳群。主墳の茶臼塚古墳は一辺17mの方墳。ほかに小町塚、大塚、頂塚、平原塚、五社宮、朱塚の7基からなる。付近を公園整備。
18	県	史跡	御霊塚古墳	鹿本町津袋	個人	昭和52年6月20日	古墳時代後期の円墳2基が近接して所在する。一号墳は直径20mの円墳、石室内に赤と白で幾何学文様、武器などを描く。二号墳は直径17mの円墳。
19	県	史跡	岩原横穴群	志々岐	熊本県	昭和61年8月21日	古墳時代後期の横穴墓群。131基からなる。うち8基に装飾文様がある。14号横穴にはゴンドラの舟縁に櫓べそをもった屍床があり、舟葬思想をうかがわせる。
1	市	建造物	重盛の供養塔	鹿本町御宇田	御宇田区	昭和46年5月28日	宝篋印塔、五輪塔各3基。平安時代末期の建立とされる。実西寺は御宇田五山の一。
2	市	建造物	霜野のだんとうさんと如法経塔群	鹿央町霜野	霜野区	昭和48年4月1日	元享2(1322)年建立という如法経塔。周辺調査で五銚金剛杵などが出土。
3	市	建造物	霜野の六地藏	鹿央町霜野	霜野区	昭和48年4月1日	江戸時代の六地藏。高さ2m。文政9(1826)年に再興。「上人快音」の刻銘あり。
4	市	建造物	姫井の六地藏	鹿央町合里 姫井	姫井区	昭和48年4月1日	六地藏。高さ2.1m。刻銘は確認できないが、江戸期とされる。
5	市	建造物	堂米野の六地藏	鹿央町合里 堂米野	堂米野区	昭和48年4月1日	江戸時代の六地藏。高さ2m。「文化十五年再建」(1817年)刻銘。
6	市	建造物	広の六地藏	鹿央町広 上広	広区	昭和48年4月1日	六地藏。高さ2.8m。刻銘は確認できないが、江戸期とされる。
7	市	建造物	宮前の六地藏	鹿央町霜野	霜野区	昭和48年4月1日	江戸時代の六地藏。高さ2.2m。文政6(1822)年に建立。「福音」の刻銘。
8	市	建造物	藤井八幡宮如法経塔	藤井(藤井八幡宮)	藤井区	昭和48年6月10日	鎌倉時代の宝塔。弘安6(1283)年銘。総高154cm。
9	市	建造物	法華寺の石塔々身群	寺島(法華寺跡)	法華寺区	昭和48年6月10日	鎌倉時代の石塔。建保3(1215)年銘は総高51cm、2号は同4(1216)年、総高58.5cm。
10	市	建造物	有福寺跡五輪塔	鹿本町高橋	高橋区	昭和49年10月29日	承久3(1221)年、泉本庄(稲田村)地頭となった相良左近将監頼元一族のものという。
11	市	建造物	福原の角卒塔婆	鹿北町岩野	個人	昭和49年11月17日	天文7年(1538)銘。鹿北地区で年号を確認できる最古の追善供養墓碑。
12	市	建造物	東野のだんとうさん塔石群	鹿北町四丁	個人	昭和49年11月17日	年代不明。鹿北地区で最大級の古墳群。30数基の宝篋印塔、五輪塔などがある。
13	市	建造物	須屋の宝篋印塔	鹿北町椎持	個人	昭和49年11月17日	文化7年(1810)銘。多数の宝篋印塔と石で塚を築き、上部に観音像を祀る。
14	市	建造物	宮迫の板碑	鹿北町岩野	個人	昭和49年11月17日	米島・稗島両家の先祖碑か。
15	市	建造物	七浦の五輪塔	鹿北町岩野	個人	昭和49年11月17日	小原家先祖の墓。小高い塚の上に3基ある。梵字があるが判読できない。
16	市	建造物	慶春待ちの碑	鹿北町芋生	山鹿市	昭和49年11月17日	加藤清正が朝鮮より連れてきた紙漉師「慶春」らを待ち受けた場所という。
17	市	建造物	慶春の碑	鹿北町芋生	山鹿市	昭和49年11月17日	加藤清正が朝鮮より連れてきた紙漉師「慶春」を奉った碑という。
18	市	建造物	鏡観坊の宝篋印塔	鹿北町岩野	個人	昭和49年11月17日	鎌倉時代。阿蘇鏡観坊の山伏を葬った墓とされる。鹿北地区最大の宝篋印塔。
19	市	建造物	下中の六地藏	鹿北町岩野	山鹿市	昭和49年11月17日	鹿北地区唯一の六地藏。高さ2.6m。明和6(1769)年銘。
20	市	建造物	迫浦の宝篋印塔	鹿北町芋生	個人	昭和49年11月17日	文明16(1484)年銘の宝篋印塔。
21	市	建造物	法泉寺の地蔵尊	鹿北町椎持	個人	昭和49年11月17日	文明14(1482)年銘。土石流で埋没した法泉寺から掘り出したものという。
22	市	建造物	田中橋	鹿北町多久	熊本県	昭和49年11月17日	鹿北地区最古の石橋。安政5(1858)年、遠山弥二兵衛による。化巖紅とも。
23	市	建造物	高井川橋	鹿北町岩野	山鹿市	昭和49年11月17日	鹿北地区で最大の石橋。明治14(1881)年旧国道3号線に架橋。橋長19.7m。
24	市	建造物	女田橋	鹿北町岩野	山鹿市	昭和49年11月17日	大正3(1914)年築造。平成7(1995)年移築。橋長11.7m。鹿北地区で最も整美。
25	市	建造物	須屋の五輪塔	鹿北町椎持	個人	昭和49年11月17日	年代不明。国衆一揆で戦死した多久大和守の弟須屋源五の墓とされる。

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
26	市	建造物	素覚尼五輪塔	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和50年2月28日	菊池家12代武時が日輪寺を再興し、住ませた息女の墓とされる。高さ1.7m。
27	市	建造物	石体観音三十三基	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和50年2月28日	江戸時代、市内はもとより佐賀・山口・徳島・対馬など各地から寄進された観音像。
28	市	建造物	伝宇野親治五輪塔群	中(雲閑寺)	雲閑寺	昭和50年2月28日	鎌倉期の五輪塔。宇野親治は山鹿温泉を発見し湯屋を建てたという。
29	市	建造物	方保田の板碑	鍋田(博物館)	専立寺	昭和50年2月28日	元享元(1321)年銘。碑面全体に阿弥陀・不動明王の種子を彫る。
30	市	建造物	金剛乗寺石門	山鹿(金剛乗寺)	金剛乗寺	昭和50年2月28日	文化元(1804)年、石工甚吉。凝灰岩切石を円形に積み、切妻屋根をのせる。
31	市	建造物	小坂の六地藏	小坂	小坂区	昭和50年2月28日	文明10(1478)年銘、市内最古。宝珠、笠は欠損し、全体に摩滅する。高さ1.8m。
32	市	建造物	善吉の塔	鹿北町芋生	個人	昭和51年9月28日	享保2(1717)年、細川藩より表彰を受けた篤農善吉の碑。高さ約2m。
33	市	建造物	多久太郎右衛門の墓	鹿北町多久	個人	昭和51年9月28日	文化10(1813)年銘。太郎右衛門は岳間村の貧民、肥後孝子伝にある。高さ0.5m。
34	市	建造物	泉福寺跡古碑古塔群	鹿本町庄	庄区	昭和57年5月1日	鎌倉から江戸時代にかけて、五輪塔などの古碑古塔が集積する。
35	市	建造物	洞口橋	菊鹿町下内田	日渡区	昭和57年6月1日	仁平が黒川に石橋を架ける前の試作という。板石6枚で構成される。安永年間ごろか。
36	市	建造物	高橋の一字一石逆修碑	鹿本町高橋	高橋区	昭和60年7月22日	天文14(1545)年銘。「高橋大隈守頼継」が死後の安穩を願い、生前に建立したものの。
37	市	建造物	八千代座付属施設	山鹿	市、管理組合	平成12年2月21日	明治期の劇場付属施設。ひょうたん池、東通門、東塚、稲荷社など。H28に一部解除。
38	市	建造物	湯山橋	平山	山鹿市	平成13年1月22日	平山の内野川に架かる石橋。大正3(1914)年ごろ建造か。長さ7.9m。
39	市	建造物	島田の鳥居を担う天部形仏神	菊鹿町下内田	山鹿市	平成16年5月17日	江戸時代の石像。安永4(1775)年銘。像高37.0cm。童子単体の坐像は類例なし。
40	市	建造物	内野の六地藏幢及び初期の龕部	菊鹿町上内田	山鹿市	平成16年5月17日	室町時代の石幢。菊鹿地区最古、文明5(1473)年。龕部が欠落し、堂内に保管。
41	市	建造物	石工仁平墓碑	菊鹿町下内田	山鹿市	平成16年5月17日	仁平は県北を代表する石工。天明2(1782)年、藩命で黒川に肥後最古の石橋を架橋。
42	市	建造物	弁天橋	鹿北町岩野	山鹿市	平成16年5月20日	明治14(1882)年架橋。旧国道3号線に架かる。橋長10.5m。石工は橋本大八という。
43	市	建造物	勝負瀬橋	鹿北町岩野	国	平成16年5月20日	明治元(1868)年ごろ架橋。旧山鹿街道、勝負瀬谷に架かる。橋長4.6m。
44	市	建造物	水天宮一号橋	鹿北町岩野	国	平成16年5月20日	明治元(1868)年ごろ架橋。旧山鹿街道、田代谷川に架かる。橋長3.5m。
45	市	建造物	水天宮二号橋	鹿北町岩野	国	平成16年5月20日	明治元(1868)年架橋。旧山鹿街道、勝負瀬橋・水天宮一号橋と同型。橋長2.5m。
46	市	建造物	上麻生橋	鹿北町椎持	山鹿市	平成16年5月20日	年代不明。麻生川で現存する唯一の石橋。橋長3.5m、幅1.4m。小型で簡素。
47	市	建造物	丸山橋	鹿北町芋生	山鹿市	平成16年5月20日	明治14(1881)年ごろ架橋。旧国道3号線の造設時に弁天橋、高井橋と同時に架橋。
48	市	建造物	板曲橋	鹿北町四丁	山鹿市	平成16年5月20日	明治42(1909)年小川内坂曲りに架設、平成7(1995)年移築。橋長7.6m。
49	市	建造物	平山橋の輪石	平山	山鹿市	平成28年7月1日	文久元(1862)年建設と言われる石橋。平成27年3月に輪石を現地へ移築復元。
50	市	建造物	大坪橋	城	山鹿市	令和5年6月26日	幕末から明治の石橋。水路橋として利用、昭和59年に山鹿市立博物館へ移築復元。
51	市	絵画	大宮神社三十六歌仙の絵馬	山鹿(大宮神社)	大宮神社	昭和57年3月1日	近世の絵馬。境内の「灯籠殿」に保管。江戸初期の絵師土佐光起作という。
52	市	絵画	鍋田八幡宮三十六歌仙の絵	鍋田(博物館)	鍋田八幡宮	昭和63年8月13日	宝暦9(1759)年、鍋田の氏子により寄進。杉板の扁額に歌仙とその作歌を書き添える。
53	市	彫刻	霊仙寺跡釈迦如来坐像	久原(霊仙寺)	霊仙区	昭和48年6月10日	室町～江戸期の如来像。ヒノキ一木造、像高36.8cm。霊仙公民館内。
54	市	彫刻	上保多田観世音菩薩坐像	保多田(観音堂)	保多田区	昭和48年6月10日	江戸期の菩薩像。ヒノキ寄木造、像高41.5cm。上保多田薬師堂内。
55	市	彫刻	凡導寺跡善光寺式一光三尊立像	蒲生(凡導寺)	蒲生区	昭和48年6月10日	江戸時代初期の三尊像。銅鑄造、像高47.8cm。享保18(1733)年銘。凡導寺内。
56	市	彫刻	千福寺跡千手観音立像	城字堂の原	堂の原区	昭和48年6月10日	江戸期の観音像。ヒノキ寄木造、総高167.5cm、像高125.5cm。千福寺内。
57	市	彫刻	坂東寺跡聖観音坐像	鹿本町来民	原部区	昭和49年10月19日	江戸期の聖観音像。像高26.5cm、光背高36cm。
58	市	彫刻	下梶屋八竜宮の竜	鹿本町下梶屋	下梶屋区	昭和49年10月29日	杵に文政3(1820)年の墨所。小原甚三が参籠し、龍の夢を見て完成させたという。
59	市	彫刻	泉福寺跡毘沙門天像及び聖歡喜天像	鹿本町庄	庄区	昭和57年5月1日	毘沙門天は泉福寺の本尊。木造、高さ120cm。聖歡喜天は秘仏で厨子内に安置。
60	市	彫刻	相良寺千手観音像	菊鹿町相良	相良寺	昭和57年6月1日	室町時代後期の観音像。檜寄木造。像高340.4cm。胎内銘より永正14(1517)年作。
61	市	彫刻	菊池武光陣中矢除守本尊不動明王	菊鹿町相良	相良寺	昭和57年6月1日	陣中守は折りたためる箱に貼り付けた薄い不動尊。菊池武光の奉納か。
62	市	彫刻	清潭寺 十六羅漢	菊鹿町上永野	清潭寺	昭和57年6月1日	中興の祖、面山和尚作、享保9(1723)年。石製で明治期の六角本堂内に安置。
63	市	工芸	日輪寺梵鐘	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和45年12月24日	正平13(1358)年銘。日輪寺を再興した天菴懷義が勸進鑄造したもの。

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
64	市	工芸	緒方家工芸品	鹿本町高橋	個人	昭和55年7月1日	銅鏡、蒔絵方盆、印籠、茶碗、水差し、飯櫃などからなる近世の工芸品。
65	市	工芸	相良寺鰐口	菊鹿町相良	相良寺	昭和57年6月1日	室町時代後期の鰐口、県内最大級。天文17(1548)年銘、東常陸介寄進。
66	市	工芸	光巖寺海獣葡萄鏡	菊鹿町上永野	光巖寺	昭和57年6月1日	唐ころの円鏡。直径11.5cm、海獣と葡萄の文様。出土地不明。
67	市	工芸	光敬寺菊池千本槍	菊鹿町上永野	光敬寺	昭和57年6月1日	千本槍は菊池武重が箱根竹の下の戦いで勝利した戦法。帰国後に作らせたもの。
68	市	工芸	清潭寺隈部親永木像及び位牌	菊鹿町上永野	清潭寺	昭和58年8月2日	江戸期の追慕像。冠直衣姿の小像。位牌に「早離三塗」の墨書あり。
69	市	工芸	中川八幡宮鳥居の透かしを持つ懸鏡	鹿本町中川	中川八幡宮	昭和63年1月27日	安土桃山時代、天正18(1590)年銘の懸鏡。作者次右衛門という。本地垂迹を表す。
70	市	古文書	大光寺文書	鹿本町来民	大光寺	昭和46年5月28日	新町絵図：宝暦13(1763)年、安政絵図：安政4(1775)年、他に口上覚・由緒書など。
71	市	古文書	御宇田氏家系図	鹿本町御宇田	個人	昭和46年5月28日	御宇田氏初代から六十一代政久まで。永正年間(1505-1520)ごろの作か。
72	市	古文書	山鹿湯町絵図	鍋田(博物館)	個人	昭和48年6月10日	宝暦13(1763)年制作。豊前街道を中心とした湯町の町並みや施設を描く。
73	市	古文書	鹿郡旧語伝記	鍋田(博物館)	個人	昭和50年2月28日	安永元(1772)年著。山下甚左右衛門親之(風斜)による郷土資料。
74	市	古文書	前田学校教科書	鹿本町来民	個人	昭和49年10月29日	明治4-8(1871-1875)年の実業教育教科書、手本、読本、手習帳など14点。
75	市	古文書	日輪寺制札	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和48年6月10日	江戸期の掲示板、慶長13(1608)年。禁止事項などを記し、路傍などに立てられた。
76	市	古文書	清潭寺隈部親永初登山教訓書	菊鹿町上永野	清潭寺	昭和57年6月1日	親永による教訓、勉学や鍛錬に対する態度を説く。
77	市	古文書	光巖寺隈部親永出陣の書	菊鹿町上永野	光巖寺	昭和57年6月1日	永禄2(1559)年、赤星道雲との合瀬川合戦に出陣する際の墨跡という。
78	市	古文書	光巖寺隈部物語	菊鹿町上永野	光巖寺	昭和57年6月1日	隈部家の伝記で音読文語体。横枕(よけ枕)地名の起源が記されている。
79	市	古文書	原口家碎玉談	菊鹿町下内田	個人	昭和57年6月1日	明治初期の行政文書。原口は江戸末～明治の庄屋・戸長、当時の記録を書写保存。
80	市	古文書	緒方家文書	鹿本町高橋	個人	昭和57年7月1日	近世から近代にかけての手形、地券、兵法書、書状など文書80点。
81	市	古文書	清潭寺隈部親永書状	菊鹿町上永野	清潭寺	昭和58年8月2日	戦国末期の武将隈部親永に関する文書二通。清潭寺常住沙門観鏡による。
82	市	古文書	西得寺文書	菊鹿町長	西得寺	平成4年10月16日	天正年間(1579-1587)の文書5点。隈部親永が家臣へ宛てた書状など。
83	市	古文書	多田隈家文書	鹿央町岩原 上岩原	個人	平成10年6月12日	5,000点以上の近世文書。多田隈家は中富手永惣庄屋を務めた。
84	市	考古資料	鹿本商工高校出土銅矛	鍋田(博物館)	鹿本商工	昭和46年5月28日	弥生時代後期の青銅器。長さ78cm。昭和7(1932)年旧制鹿本中学校裏より出土。
85	市	考古資料	方保田古墳石室	方保田(大道小学校)	山鹿市	昭和48年6月10日	古墳時代終末期の円墳か。木棺を粘土・朱・巨石で被覆する。石室を移築復元。
86	市	考古資料	柿原出土尖頭器	鍋田(博物館)	鹿本高校	昭和49年11月17日	旧石器時代後期(約1万年前)の石器。昭和40(1965)年、岩野より出土。長さ25.5cm。
87	市	考古資料	椎持南出土尖頭器・両刃礫器	鍋田(博物館)	個人	平成3年4月1日	旧石器時代の石器。昭和40(1965)年ごろ、椎持南松尾で出土。尖頭器長さ9.1cm。
88	市	無形文化財	鹿北茶山唄	鹿北町岳間	個人	平成1年4月1日	賑やかに楽しく働くための作業唄。天保年間より伝わるといふ。
89	市	有形民俗文化財	大宮神社猿田彦石碑群	山鹿(大宮神社)	大宮神社	昭和48年6月10日	大宮神社境内にある49基の石碑。各地の庚申塔を集積したもの。
90	市	有形民俗文化財	日輪寺芭蕉碑	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和50年2月28日	明和3(1776)年、虫臂堂風斜(山下甚左右衛門)建立。蛸塚とも。
91	市	有形民俗文化財	来民団扇製作工具一式	鹿本町来民	山鹿市	昭和58年8月1日	来民は京都、丸亀と並ぶ三大産地の一。製作は寛永16(1638)年～昭和40年代。
92	市	無形民俗文化財	宗方万行	宗方	保存会	昭和45年12月24日	宗方八幡宮に伝わる念仏踊系統の雨乞い踊り。
93	市	無形民俗文化財	小坂雨乞い踊り	小坂	保存会	昭和45年12月24日	小坂諏訪明神社に伝わる念仏踊系統の雨乞い踊り。
94	市	無形民俗文化財	なれなれなすび踊り	長坂	保存会	昭和45年12月24日	長坂巖島神社に伝わる念仏踊系統の舞楽。
95	市	無形民俗文化財	山鹿灯籠	山鹿(大宮神社)	大宮神社	昭和45年12月24日	紙と糊のみで製作する工芸品。鳥籠、金燈籠などを大宮神社に奉納する。
96	市	無形民俗文化財	犬子ひょうたん	山鹿(大宮神社)	大宮神社	昭和48年6月10日	八坂神社(大宮神社内)祭礼。縁起物(瓢箪を抱いた子犬)を購入し、無病息災を祈る。
97	市	無形民俗文化財	川北雨乞い踊り	鹿本町中川	保存会	昭和56年5月20日	男はひょうたん、女は傘・鎌を持ち踊る。享保年間(1716-1735)に始まるという。
98	市	史跡	臼塚古墳	石	山鹿市	昭和45年12月24日	古墳時代後期の円墳。石室に赤・白・青の装飾。樹立していた石人は県指定文化財。
99	市	史跡	竜王山古墳	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和45年12月24日	市内唯一の竪穴式石室。古墳時代前期か。開墾時の発見で墳形や規模は不明。
100	市	史跡	赤穂義士遺髪塔	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和45年12月24日	元禄16(1703)年の供養塔。細川藩預かりとなった十七士の遺髪を納める。
101	市	史跡	中村麩寺心礎	中(熊野神社)	中村区	昭和45年12月24日	平安時代後期の三重塔心礎。周辺から布目瓦や土器が出土。

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
102	市	史跡	御宇田氏墓所	鹿本町御宇田	御宇田区	昭和46年5月28日	宝篋印塔1基、高さ1.32m。中正寺は御宇田五山の一で御宇田氏の菩提寺。
103	市	史跡	駄の原釜石古墳	鹿央町合里 姫井	個人	昭和48年4月1日	古墳石室材のみ残存。米原長者と宝くらべをした駄の原長者のカマドという。
104	市	史跡	康平寺	鹿央町霜野	個人	昭和48年4月1日	康平元(1058)年建立という。収蔵庫に「地藏菩薩立像」などを安置する。
105	市	史跡	長福寺	鹿央町北谷	北谷区	昭和48年4月1日	康平元(1058)年、恵公上人建立とされる。
106	市	史跡	下米野横穴群	鹿央町合里 下米野	個人	昭和48年4月1日	48基の横穴群。昭和61(1986)年実測調査。一部に屋根垂木の彫り込みあり。
107	市	史跡	鬼塚古墳	鹿央町岩原	金剛乗寺	昭和48年4月1日	古墳時代の円墳。現状は直径27×22mの円墳。文政年間に発掘されたという。
108	市	史跡	双塚古墳	鹿央町広 下原	個人	昭和48年4月1日	古墳時代の円墳二基。一号墳は北に開口する横穴式石室をもつ。直径約12m。
109	市	史跡	下原古墳	鹿央町広 下原	個人	昭和48年4月1日	古墳時代の円墳。ほぼ原形のままで残る。未調査のため詳細不明。
110	市	史跡	元広の豊前街道里数木跡	鹿央町元広	個人	昭和48年4月1日	近世の一里塚。熊本市新町の元標から五里の地点にある。榎は枯れ、塚のみ残存。
111	市	史跡	島已今の墓	鹿央町合里 下米野	山鹿市	昭和48年4月1日	肥後養蚕業の普及に貢献した志賀半右衛門親氏の墓。寛政8(1769)年没。
112	市	史跡	千田八島	鹿央町宮原	千田八幡宮	昭和48年4月1日	景行天皇の九州巡幸神話に基づく。八頭亀をかたどった八島に神を祀ったという。
113	市	史跡	西福寺摩崖仏	石	個人	昭和48年6月10日	凝灰岩の崖面に龕を彫り、二体の像を陽刻する。観音像に正平24(1369)年銘あり。
114	市	史跡	中川双子塚	鹿本町中川	川北区	昭和49年10月29日	古墳時代前期の古墳か。水田地帯に位置し、周囲は削平されている。
115	市	史跡	亀塚古墳	方保田	山鹿市	昭和50年2月28日	菊池川に近接する前方後円墳。未調査のため規模や時期など詳細不明。
116	市	史跡	端山塚古墳	方保田	法人	昭和50年2月28日	古墳時代中期の円墳、直径約25m。亀塚古墳に隣接する。未調査で詳細不明。
117	市	史跡	円通寺口の岩地藏	城	個人	昭和50年2月28日	天正15(1588)年ごろの磨崖仏。崩落したものが多く10基程度が確認できる。
118	市	史跡	北山円心の塔	鹿北町芋生	個人	昭和51年9月28日	円心は芋生の宮相撲力士。百日満願で百本の竹をかつげたという。高さ約1.3m。
119	市	史跡	御宇田五山跡	鹿本町御宇田	御宇田区	昭和55年10月1日	室町時代、臨済宗の寺院跡。大光寺、安養寺、中正寺、実西寺、西光寺からなる。
120	市	史跡	小西行長供養塔	鹿本町中川	個人	昭和56年5月20日	慶長5(1600)年銘の供養塔。高さ1.25m、凝灰岩製。下端部に十字の印刻あり。
121	市	史跡	下高橋の御高札場跡	鹿本町下高橋	下高橋区	昭和56年5月20日	江戸期の高札場。享和4(1804)年銘。4枚立てで高さ2.5m、幅3.0m。
122	市	史跡	堤古墳	鹿央町合里 寺米野	山鹿市	昭和57年4月1日	古墳時代の円墳。昭和53(1978)年、圃場整備に伴う調査。二号墳は直径約16m。
123	市	史跡	芹ヶ迫古墳	鹿央町広 上広	山鹿市	昭和57年4月1日	古墳時代の円墳。周囲が削平されているが、圃場整備に際して保存された。
124	市	史跡	浦大間古墳群	鹿央町千田 上千田	山鹿市	昭和57年4月1日	古墳時代の方形周溝墓群。7基からなり、主体部の石棺が移築保存されている。
125	市	史跡	庄林隼人自休居士茶毘塚	菊鹿町上内田	光台寺	昭和57年6月1日	二代目庄林氏は加藤家に仕え、のち上内田に移住。村守護のため建立か。
126	市	史跡	清潭寺の隈部家墓地	菊鹿町上永野	清潭寺	昭和57年6月1日	隈部貞明:天文8(1539)年没、その子親家とその類縁の墓塔。
127	市	史跡	湯の口溜池 附遠山神社	蒲生	蒲生区	昭和59年4月26日	近世の溜池。惣庄屋遠山弥二兵衛により、安政5(1858)年完成。神社は遠山を祀る。
128	市	史跡	城村城跡	城	山鹿市ほか	昭和62年8月28日	中世の山城。城主は菊池三家老、城氏。天正15(1587)年、国衆一揆終焉の地。
129	市	史跡	平山城跡	平山	個人	昭和62年8月28日	中世の山城。城主は平山秀世という。西南戦争では政府軍の陣地となる。
130	市	史跡	西付城跡	城	山鹿市ほか	昭和62年8月28日	中世の山城。国衆一揆で佐々成政が城村城に対して築城し、出城として兵を置いた。
131	市	史跡	黄金塚古墳	菊鹿町松尾	山鹿市	平成1年11月30日	古墳時代後期の円墳。昭和62(1987)年、圃場整備に際して調査。移築復元される。
132	市	史跡	芋生摂津守四代目の墓	鹿北町芋生	個人	平成3年4月1日	宝永6(1709)年銘。宝永年間にこの地を支配した芋生摂津守の墓とされる。
133	市	史跡	妙見遺跡	鹿本町御宇田	個人	平成5年2月17日	古代山鹿郡衛の推定地。発掘調査で弥生～中世の遺構・遺物が出土。郡倉か。
134	市	史跡	中尾古墳	鹿央町千田 水原	個人	平成10年6月12日	古墳時代の円墳。現状では直径約10m。盗掘されている。
135	市	史跡	久野古墳	鹿央町千田 久野	久野区	平成10年6月12日	古墳時代の前方後円墳。墳丘上に墓地として使用。全長約70m。
136	市	史跡	早馬塚古墳	鹿央町千田 宮	個人	平成10年6月12日	古墳時代の円墳。周囲を削平される。名馬埋葬の伝説がある。
137	市	史跡	霜野城跡	鹿央町霜野	個人	平成10年6月12日	中世の山城。内空閑氏の居城。天正15(1587)年、肥後国衆一揆で廃絶。
138	市	史跡	建立寺跡	鹿央町合里 寺米野	山鹿市	平成10年6月12日	永正10(1513)年、映真法師の開基とされる。
139	市	名勝	不動岩	蒲生	蒲生区	昭和50年2月28日	巨大な岩塔。硬質礫岩からなり、古第三紀の所産とされる。熊本二十五景の一。

山鹿市指定文化財一覧

No.	別	種別	名称	所在地	所有者・団体	指定年月日	概要
140	市	天然記念物	来民の大イチョウ	鹿本町来民	山鹿市	昭和46年5月28日	幹周8m、高さ35m、推定樹齢350年。頂部は落雷で焼失。中村会所跡に立つ。
141	市	天然記念物	日吉宮のクスノキ	鹿央町霜野	霜野区	昭和48年4月1日	幹周6.8m、推定樹齢250年。新社殿造営の宝永7(1710)年頃に植えられたという。
142	市	天然記念物	日輪寺のラカンマキ	杉(日輪寺)	日輪寺	昭和57年3月1日	正和5(1316)年、日輪寺を再興した菊池武時の植樹という。
143	市	天然記念物	湯の端のエノキ	山鹿(プラザ5)	山鹿市	昭和57年3月1日	幹周約2.2m、樹齢不詳。豊前街道と菊池往還の交差点に位置する。
144	市	天然記念物	南島菅原神社のクスノキ	南島(南島菅原神社)	南島区	昭和57年3月1日	幹周約4.8m、樹齢不詳。「クスノキサシ」「クスメキサシ」とも。
145	市	天然記念物	松尾神社の樹木群	菊鹿町木野	松尾神社	昭和58年8月2日	クス二本。松尾神社は山城国より勧請。神殿は江戸前期の様式を示す。
146	市	天然記念物	田淵のイチイガシ	鹿北町岩野	国	平成1年4月1日	幹周2.8m、樹高28m、推定樹齢500年。株本に湧水あり。
147	市	天然記念物	田中のクロガネモチ	鹿北町多久	墓地組合	平成1年4月1日	幹周2.6m、樹高10.1m、樹冠東西11.9m、南北16.6m、推定樹齢150年。
148	市	天然記念物	本多久のムク	鹿北町多久	山鹿市	平成1年4月1日	幹周3.2m、樹高13m、樹冠東西13.5m、南北13m、推定樹齢400年。
149	市	天然記念物	宮地岳のスギ	鹿北町岩野	弁天区	平成1年4月1日	幹周3.7m、樹高16.5m、推定樹齢400年。落雷により頂部4mが折れる。
150	市	天然記念物	荒平天満宮の樹木群	鹿北町多久	個人	平成1年4月1日	幹周:イチイガシ2.2m、タブ2.05m、ケヤキ2.4m、ヤマモミジ1.2m、ヤマザクラ1.7m。
151	市	天然記念物	枝川内のフジ	鹿北町芋生	枝川内区	平成1年4月1日	幹周1.1m、樹高16m、樹長25m、推定樹齢200年。
152	市	天然記念物	茂田井神社の樹木群	鹿北町多久	茂田井区	平成1年4月1日	ケヤキ:推定樹齢400年。スギ200年。他にモミジ1本、カヤ1本がある。
153	市	天然記念物	市木天満宮の樹木群	鹿北町維持	市木区	平成1年4月1日	ムク:幹周3.8m、5.6m、5.7mの三本があり、ともに推定樹齢400年。他にケヤキ1本。
154	市	天然記念物	中津川のモミジ	鹿北町岩野	国	平成1年4月1日	幹周2m、樹高14.7m、推定樹齢400年。
155	市	天然記念物	岩野神社の樹木群	鹿北町岩野	個人	平成1年4月1日	イチョウ:推定樹齢400年、クス・モミ400年、イチイガシ・ケヤキ350年など。
156	市	天然記念物	久老のタブノキ	鹿北町岩野	国	平成1年4月1日	幹周4.4m、推定樹齢700年。鹿北地区最古の樹木。
157	市	天然記念物	川原谷の山神のウラジロカシ	鹿北町芋生	川原谷区	平成1年4月1日	山の神の神木。正月に山の神祭りをおこない、一年間の安全を祈願する。
158	市	天然記念物	善行寺のマキ	鹿央町元広	元広区	平成10年6月12日	幹周2.6m、樹齢不詳。慶長年間、和田次郎正善の植樹という。
159	市	天然記念物	東野のオオバヤナギ	鹿北町四丁	山鹿市	平成15年5月1日	推定樹齢100年。東野自然公園のため池に自生。
160	市	天然記念物	千田聖母八幡宮のギンモクセイ	鹿央町千田	千田聖母八幡宮	平成28年7月1日	高さ約10m、幹周り2m。幹周りから、推定樹齢は250年。

令和5年6月26日更新